

植物由来の「ポリ乳酸ラミネート紙」開発のお知らせ

王子ホールディングス株式会社(社長:磯野裕之、本社:東京都中央区)と、グループ会社の王子パッケージング株式会社(社長:松原一彰、本社:東京都)は、植物由来原料のポリ乳酸を使用した、ポリ乳酸ラミネート紙の開発に成功したことをお知らせいたします。

紙コップや牛乳パックなどとして使われるラミネート紙は、紙基材にプラスチックを溶融押出して積層した複合材です。プラスチック層があることで、加熱接着するヒートシール性や、水や油を通さない耐水耐油性を有しています。

一方で、一般的にラミネート紙は可燃ごみとして扱われます。また牛乳パックなどリサイクルシステムが構築されたものでも、紙原料から取り除かれたプラスチック部分は燃料などとして利用されます(サーマルリサイクル)。従来、このプラスチックは石油由来であるため、燃やされることで温室効果ガスであるCO₂が排出されておりました。

そこで当社は、これまでのラミネート紙製造で培ったノウハウをベースに検討を進め、石油由来プラスチックを使用せずに、植物由来のポリ乳酸を使用したラミネート紙の開発に成功しました。

ポリ乳酸は、植物由来であるため燃焼しても大気中のCO₂を増やさず(カーボンニュートラル)、コンポスト条件下で生分解する環境負荷の低いプラスチックです。本開発品は、ポリ乳酸を使用することで石油由来プラスチック削減に貢献でき、かつ従来品同等のヒートシール性や耐水耐油性を有するラミネート紙になります。

当社は、今後も紙製品の製造技術を活かした環境配慮型製品の開発を進め、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。



〈開発品のシートと成型例〉

本件に関する問い合わせ先

王子ホールディングス株式会社
イノベーション推進本部 ディベロップメントセンター:阿部
TEL:070-2634-9032

サステナビリティ推進本部 広報IR部
TEL:03-3563-4523 E-mail:oji-holdings@oji-gr.com